

活動を通じて学校の魅力発信や、共生社会の大切さを体感できた

はやしま学協働本部

活動の目的

キャリア教育の視点で、中学生が、地域の大人や大学生と意見交換をしたり、外国の方と英語をツールに積極的にコミュニケーションを図ることで、生徒たちが自分のアイデンティティを育て、相手意識に立った言動や、他社の考えや価値観を尊重する姿勢など、共生社会の実現を目指す人材を育てるとともに、一人ひとりの未来への夢や志を高めていく。

活動の内容及び経過

・中学生だっぴ

1月9日土曜授業日に、感染症予防対策として6つの特別教室に分散してリモートで開催し、中学1年生125名と大学生40名、大人45名の三者が、40グループに分かれて、様々なテーマに沿って語り合い、自分たちの生き方や未来について互いに交流を深めた。

・はやしま English Day

9月7日土曜授業日に、中学2年生と、岡山大学のアメリカ、南アフリカ、モーリタニアの留学生19名が英語で交流。生徒がiPadを活用して自己紹介や早鳥の名所・名産を紹介すると、留学生も母国の自然や文化・食生活などを動画や写真で紹介し、互いに異国の文化に触れ合い、国際理解を深めた。

活動の成果・効果

・中学生だっぴ

誰かに話すことで知らなかった自分を改めて発見したり、普段話さない世代や分野の人の人生観や思いを聞くことで、コミュニケーション力が身につく、互いの意見の違いから新たな発見や学びが生まれた。町内外の大人や大学生が関わることで、学校の魅力発信につながった。

・はやしま English Day

中学2年生が留学生と英語での交流を通して、互いに異国の文化に触れ国際理解を深め、英語や他国の文化に興味をもち、世界に視野を広げるよい機会となり、英語力向上のよい動機付けにもなった。

今後の課題と問題点

・中学生だっぴ

コロナ禍で体育館に一同集結しての開催ができず、司会がリモートにして、生徒や参加者を特別教室に分散しての開催だったので、各教室で温度差はあったものの、学びの歩みを止めないとの姿勢が、感染拡大防止に向けて事業を実施したことで教育効果を高めたと感じる。今後もコロナと共に生きる社会での工夫をしながら、継続していきたい。



中学生だっぴ



中学生だっぴ



English Day



English Day

・はやしま English Day

様々な国の留学生との英語交流で生徒たちには有意義な一日となったが、一日だけのイベントに終わるのではなく、授業の中に留学生を定期的に入れていくことで、英語での交流を深めていきたい。

- 代表者：野田久美子 ●所在地：都窪郡早鳥町前湯
- TEL：086-483-2211
- E-MAIL：kumiko_noda@town.hayashima.lg.jp
- 設立年：2013年 ●メンバー数：8名